

令和6年 第7回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和6年 第7回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年7月26日(金) 13:40~16:00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

黒木教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員

【事務局】

(企画総務課) 河野課長、比江島補佐、佐藤主幹、野崎主査、中村主事

(学校教育課) 小川課長、西川補佐、川越指導主事

(教育情報研修センター) 栗原所長

(文化財課) 町田課長

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第33号	令和7年度に使用する中学校用教科用図書の採択について	学校教育課長
議案第34号	職員の処分について	企画総務課長

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第19号	臨時代理の報告について	学校教育課長

黒木教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただいまから、第7回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者は2名です。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私黒木と、高峰教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをご覧ください。</p> <p>「(1) 教育長報告」ですが、こちらに記載のとおりです。このうち、「全国都市教育長協議会 第3回理事会」と「中核市教育長会 第1回総会・研修会」について報告します。</p> <p>まず、「学びの多様化学校や学校内外の教育支援センターの設置及び運営支援等に係る不登校対策について」と記載のある資料は、7月11日に開催された「全国都市教育長協議会」において、文部科学省の説明資料となります。本市でも、学びの多様化学校の設置を進めており、教育委員の皆様にも情報提供を行い、様々な意見をいただいているところです。</p> <p>「不登校児童生徒等を対象とする特別の教育課程の編成(学びの多様化学校)について」というスライドの下方に、「第四期教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)において、令和9年度までに全都道府県・指定都市への設置、将来的には、分教室型も含めて全国で300校の設置を国としても目指している。」という数値目標の説明がありました。方針として、令和7年度の開校を目指していくということになります。</p> <p>設置状況は、令和6年4月現在、35校です。国公私別設置状況は、公立学校21校、私立学校14校です。学校種別では、小学校8校、中学校25校、高等学校6校です。設置形態別設置状況では、学校型17校、分教室型1校、分教室型13校、コース指定型4校です。宮崎県では、延岡市立南浦中学校が分教室型で開始しています。</p> <p>一番最後のスライドには、学びの多様化学校に通う児童生徒や児童生徒の保護者の声が掲載されています。児童生徒からは、「自分を変えられた」「分かり合える友だちに出会えた」「学校に行くのが楽しい」「学習の中で自分の成長を感じられる」と肯定的な意見が多いです。児童生徒の保護者からは、「子どもの変化に驚かされた」「子どもだけではなく、家族も変わっていく」「学校の在り方に大きな魅力を感じる」との声があります。</p> <p>資料には記載がありませんが、説明者より、「設置した後の人的配置に、各市町村や都道府県は配慮して欲しい」「分教室で設置しても、学校型に変えていく必要性が生じている」という説明もありました。</p> <p>もう1つの資料は、「学びの多様化学校 八王子市立高尾山学園」の学校資料説明です。こちらは、7月12日に開催された「中核市教育長会」で説明がありました。</p> <p>4ページをご覧ください。開校して20年間の教育実践蓄積があり、</p>

	<p>様々な苦勞や成果、課題についての説明がありました。</p> <p>15、16ページのスライドをご覧ください。20年間の活動を通して、ほとんどの児童生徒が元気に、登校率は平均で7割以上と記載されています。不登校の子ども達が、この学校には7割以上来れるようになっていくということです。自信をつけて卒業し、進学率は97.5%で、高校在籍率も85%です。東京都は、様々な形態の都立学校を準備しているため、継続して通いやすいのではないかと思います。</p> <p>高尾山学園の運営上の課題としては、不登校児童生徒が急増し、ニーズも高まってきています。このような不登校特例校だけでなく、本市が行っている各学校の校内教育支援教室の取組との組み合わせが大事だという説明がありました。加えて、大事なことは通常校でできる不登校の未然防止を広げていくことです。受入だけでは、難しいという説明もありました。通常校で学びの多様な学校のもっている良さをどのように活かしていくのが今後の大きな鍵を握るとのことです。以上です。</p> <p>質問や感想等は、後ほどまとめてお願いします。</p> <p>次に、「(2) 委員報告」ですが、7月3日に行われた「宮崎県市町村教育委員会連合会 令和7年度教育施策に対する県への要望書提出」と、7月19日に行われた「宮崎県市町村教育委員会連合会 総会」について、松尾代表教育委員から報告をお願いします。</p>
松尾代表教育委員	<p>まず、7月3日に行われた「宮崎県市町村教育委員会連合会 令和7年度教育施策に対する県への要望書」についてです。宮崎県教育委員会へ令和7年度教育施策に取り入れてほしい内容を各市町村からアンケートをとり、要望として提出しました。宮崎県教育委員会 黒木教育長に対応していただきました。教員の確保、すべては人が基本であるということが各市町村から出されたところでした。</p> <p>次に、7月19日に行われた「宮崎県市町村教育委員会連合会 総会」についてです。役員選出や予算決算、事業計画、負担金の見直しについて審議をしました。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、1ページをご覧ください。続いて、(3) 教育局長報告、(4) 各課行事報告等は記載のとおりです。</p> <p>(4) 各課行事報告等より、「市制100周年記念宮崎市グローバルチャレンジ支援事業 第1回事前研修」について、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>7月6日に派遣生徒10名に対する第1回事前研修を教育情報研修センターにおいて行いました。</p> <p>子ども達にとって、初めての顔合わせであったため、どの生徒も緊張した面持ちで来場していました。はじめに、研修内容について、企画総務課指導主事より事業目的や個人負担金免除について説明を行いました。委託業者からは、渡航の留意点や準備物についての説明がありました。、現地</p>

	<p>の語学学校の職員からは、語学学校及び寮での過ごし方等について説明がありました。初めて海外へ行く生徒もいたため、保護者から多くの質問がありました。</p> <p>その後は、英語での自己紹介、委託業者が準備した「コミュニケーションの取り方」についての取組、指導主事が英語を用いながら「出発式で行う決意表明」について生徒への研修を行いました。子ども達の緊張は徐々に解かれていき、最後は自分たちだけでグループワークを行うなど、積極的に意見の交流を図っていました。私は、研修の最後まで子ども達の様子を参観したのですが、派遣生徒の積極的な姿や前向きに意見を述べる姿から、頼もしさを強く感じたところです。</p> <p>また、研修後にも保護者も含め多くの質問がありました。後日、メールにて一斉に回答し情報共有を図っています。</p> <p>この派遣は、8月3日からとなります。7月27日に、第2回事前研修と出発式を行う予定です。清山市長と黒木教育長にもご参加いただきます。出発式では、生徒一人ひとりが英語による決意表明を行い、清山市長から激励をいただく予定です。そして、8月3日から17日までの15日間、シンガポールでの研修に参加します。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>これまでの行事報告に対する質問や、各行事に参加された委員でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等ありましたら、お願いします。</p>
小林教育委員	<p>学びの多様化学校に関する情報提供ありがとうございました。</p> <p>宮崎市としては、来年度の設置に向けて、大変期待をしているところです。人的配置への配慮については、私が令和4年に世田谷の不登校特例校分教室に視察に行った際の校長も強く話されていました。実際に支援として、全体を俯瞰できる職員の方の配置があり、その方の動きによって、柔軟な対応ができていたと聞きました。そのような点を踏まえると人事異動の際に、人的配置への配慮を継続していただきたいです。</p> <p>また、通常の学級における予防的対応が重要という言葉が印象的でした。未然に、予防的に防ぐためにAIによる不登校予測をしている自治体もあります。小中学生のデータを分析し、アラートがなった際に校長が対応を検討していくという流れです。ICTの活用等、一歩踏み込んだ取り組みをしても良いと考えながら教育長の話の話を聞きました。</p>
河野企画総務課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>学びの多様化学校では、様々な生徒が入学すると考えられるため、統括できるような立場の教員の配置が必要なのではないかと考えています。また、経験豊富な先生方の配置も必要であると考えています。宮崎県教育委員会と協議をし、よい先生を配置していただけるように、交渉して行きたいと思います。</p>
松尾代表教育委員	<p>不登校児童生徒といっても、通常の学級にいる子どもだけではありません。特別支援学級にいる子どももいることを考えれば、特性に応じた対応</p>

	<p>も必要になります。必然と職員の配置に配慮が必要だろうと考えています。</p>
黒木教育長	<p>八王子市立高尾山学園では、児童精神科医が月に1回学校に来て、教員が不登校の子ども達の精神状況やアドバイスの仕方を児童精神科医と一緒に考えている体制があります。今後は、教員以外の職員の配置が必要になってくると感じました。宮崎市が有している環境をどれだけ有効に活用できるかというのが大きな観点だと思います。</p> <p>それでは、他にないようですので、「4 議事」に入らせていただきます。5ページをご覧ください。本日、議案が2件です。</p> <p>本日は議案第33号「令和7年度に使用する中学校用教科用図書の採択について」のみ審議をしていただく予定でしたが、緊急に審議いただく案件が生じたため、議案第34号「職員の処分について」の議案も追加しています。なお、両議案については、進行の都合上、「会次第7 行事予定」の後に審議をしていただきたいと思いますと考えていますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	<p>異議なし。</p>
黒木教育長	<p>それでは、続いて、「報告」に入らせていただきます。8ページをご覧ください。本日、報告は1件です。</p> <p>事前のご案内では、報告案件は予定していませんでしたが、急遽ご報告すべき事項が生じたため、報告第19号「臨時代理の報告について」を追加しました。本件についても、進行の都合上、先ほどの2件の議案と同様に、「会次第7 行事予定」の後に報告させていただきたいと考えていますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	<p>異議なし。</p>
黒木教育長	<p>それでは、会次第「5 その他」に移らせていただきます。10ページをご覧ください。</p> <p>まず、「令和6年度“WELCOME to our FURUSATO”プレゼンテーションコンテスト」について、事務局から説明をお願いします。</p>
栞原教育情報研修センター所長	<p>資料11ページをご覧ください。</p> <p>8月22日に宮崎市民文化ホールにて実施します。昨年度に初めて開催し、今年度が第2回となります。このコンテストは、宮崎市の中学生が日本を訪問する外国人へふるさと、つまり地元の良さや魅力を、英語で紹介するという設定で行います。</p> <p>テーマは「来てみてん、私たちのふるさと」ということで、各校複数名のグループで、FOOD、FESTIVAL等の部門を一つ選び、発表を行った後、他校の生徒や審査員と英語でやり取りを行います。</p> <p>英語による発表や質疑応答を通して、生徒達の英語力を高めることを目的としています。発表の準備は、生徒と各校のALTを中心に行っています。当日は自由に観覧できますので、お時間がありましたら、ぜひお越しください。</p>

黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	ありがとうございます。 続いて「「生目の100m超えの古墳たち～近年の発掘調査結果から～」について」、事務局から説明をお願いします。
町田文化財課長	12ページをご覧ください。 文化財課では、国の指定史跡で、日本遺産の構成資産の一つでもある生目古墳群の最新調査成果をテーマとした企画展を開催します。 期間は夏休み中でもある8月3日から12月1日まで、会場は生目の杜遊古館の第4展示室です。見どころは、大きさが100メートルを越える3基の古墳で、特に1号墳については、古墳がつけられた時期などにつながる貴重な調査成果を紹介しています。 なお、企画展初日となる8月3日には、宮崎文化振興協会主催の遊古館開館15周年記念講演会「弥生・古墳時代の暦を考えるー考古天文学の視点からー」も開催されます。
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	その他、委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
片山教育委員	6月と7月に学校支援訪問に行きました。私は、学校支援訪問をするときに、学校の雰囲気や先生方がどれだけ生き生きしてるかということを大事にして訪問しています。 恒久小学校では、多くの先生方が非常に楽しそうにされていました。なぜこんなに先生達が生き生きしているのだろうと考えていたところ、校長が初めて養護教諭から校長になられた方でした。校長へ質問をしたところ、「養護教諭の視点で、先生達の心と体を見ています。」と話されていました。養護教諭が一緒となったチーム学校という視点が大事であると感じました。 大淀小学校では、校長室に先生方一人一人の思いとして、「教員も児童も楽しい学校」「大人も子どもも笑顔の学校」等が書かれていました。私は、マズローの5段階要求説を大切にしています。一番下にあたる生理的欲求が確保された上で安全安心を求め、その上で承認欲求があり、自己実現につながります。生理的欲求は、家庭や地域でも必要ですが、安全安心があって、勉強につながるという土台を先生方が理解されていて、その先生方の一言一言に涙が出そうなくらい感動しました。 「大人が楽しいと思う学校は子ども楽しい」ということを2校の訪問で感じました。
高峰教育委員	6月24日に個人的にお手伝いしてる台湾との文化交流事業のような取組がありました。台湾から約10名の学者とメディアが宮崎に見え、私がアテンドを行いました。その際、文化財課の職員に宮崎の歴史を語って

	<p>いただきました。</p> <p>「宮崎県の縄文時代の縄文土器は縄ではなくて、貝で模様がつけられており、台湾とか沖縄とか、そういう南方の文化と同じである。」等の話を聞きました。担当職員からは、「宮崎は端の文化。中央ではなく、端であるからこそ独自性がある面白い。」と熱く語っていただきました。台湾の方からは、「歴史の共有、とても素晴らしかったです。宮崎について、よく理解することができました。さらに素晴らしいことは、共有をしてくれた方の情熱や故郷への歴史の愛情を感じることができたことです。その誠実さは言葉の壁を越えることができました。ありがとうございます。」とお礼状をもらいました。</p> <p>非常に知的好奇心に溢れている方が多いため、皆さんが喜ばれるような歴史の話で迎えられたことが、非常に有難かったです。ありがとうございます。</p>
黒木教育長	<p>前向きな話が続きました。担当課は、今の情報を学校や担当職員に伝えていただきたいと思います。</p> <p>他にないようでしたら、会次第「6 次回委員会について」、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>次回の定例教育委員会は、8月20日（火）、13時40分から教育委員会室において、開催したいと考えています。</p>
黒木教育長	<p>ただいま説明のありました日時で、委員会を開催しますので、よろしくをお願いします。</p>
教育委員	<p>異議なし。</p>
黒木教育長	<p>続いて、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>それでは、会次第「7 行事予定」に沿って説明します。</p> <p>7月27日は、「市制100周年記念グローバルチャレンジ支援事業 第2回事前研修と出発式」です。市長、教育長の出席です。</p> <p>8月1日から2日にかけて、長崎県佐世保市にて「九州地区市町村教育委員会連合会 総会」が開催されます。教育長と松尾代表教育委員の出張です。</p> <p>8月3日は、「生目の杜遊古館 開館15周年記念講演会」があります。</p> <p>8月5日から6日にかけて、「高木兼寛顕彰事業特別大使派遣」があります。</p> <p>8月6日は、「令和6年度 青少年の主張宮崎県大会」です。松尾代表教育委員の出席です。</p> <p>8月20日は、「第75回全九州中学校長研究大会」です。教育長、松尾代表教育委員の出席です。</p> <p>8月20日は、次回の定例教育委員会です。</p> <p>8月22日は、「令和6年度 “WELCOME to our FURUSATO” プレゼンテーションコンテスト」です。</p>

	<p>8月23日は、「第64回九州地区公立学校教頭会研究大会」です。教育長、松尾代表教育委員の出席です。</p> <p>同日の8月23日は、「宮崎市「未来の教室」教育フォーラム」です。</p> <p>8月30日は、「宮崎市総合教育会議」を予定をしています。教育委員の皆様への出席です。</p> <p>9月2日から19日にかけて、9月の定例会議の予定です。</p> <p>9月24日は、「管理職と教育委員会との意見交換会」と9月の定例会議を予定しています。</p>
黒木教育長	<p>それでは、先ほど説明したとおり、会次第4「議事」に戻ります。</p> <p>議案第33号「令和7年度に使用する中学校用教科用図書採択について」、議案第34号「職員の処分について」の2件と報告第19号「臨時代理の報告について」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	それでは、これより非公開とします。関係課長、関係職員以外の退席をお願いします。傍聴者の方は一旦退席をお願いします。
黒木教育長	ここで非公開を解除します。傍聴者の方はお入りください。以上をもちまして、第7回定例会を終了します。